

### 第3回「地域フォーラム」概要

開催テーマ 「地域のビジョンづくり」

日時 令和元年9月7日(土) 10時00分～12時00分

会場 王寺町文化福祉センター

資料説明	荒井奈良県知事
<p>奈良が良くなってきたと言われることがありますが、これはありがたいことだと思います。しかし、これでいいわけではなく、これまでの歩みを確認して、これから歩むべき道筋を探索する作業が必要となります。これからの奈良について、市町村長も一緒に議論をしませんかというのが、今日の会議の趣旨です。</p> <p>まず、これまでの奈良県の立ち位置ですが、奈良県では急速な人口減少や高齢化が進むとともに、県外就業率も全国トップクラスであり、成熟したベッドタウンにおける諸課題が発生している状況です。</p> <p>こういった諸課題にどう対処して住み心地の良いまちづくりをするかをメインテーマに、県では取組を進めています。</p> <p>例えば、防災の分野では、この地域では大和川の洪水が一番心配ですが、大規模な災害の発生に備えて、空からの防災、救難という観点で五條市に2000メートル滑走路付きの大規模広域防災拠点の整備を進めています。</p> <p>この地域と関わりの深い大和川直轄遊水地と流域内水遊水地の整備を行い、洪水対策を実施します。</p> <p>また、景観づくりの分野では、馬見丘陵公園の整備をして、今、年間100万人を超える来訪者があります。地域住民にとっても健康増進の役に立っているので、今後もイベント拡充をしたいと思います。</p> <p>ここでお示ししている奈良新『都』づくり戦略(案)は、奈良発展の目標と道筋について、県民の皆様と議論を深めるためのたたき台です。今後、このような議論を行い、県民の皆様からご意見をいただいて、さらに戦略を進化させたいと思っています。</p>	

資料説明	上田大和郡山市長
<p>大和郡山市では、人口減少が進む中、令和7年に人口8万人を維持することを合い言葉に、子育てや福祉という大きなテーマに取り組んでいます。大和郡山市福祉ゾーンの再整備に向けて、ゾーン内にある民営の保育園、生活支援施設、老人福祉センター等のあり方の検討や高齢者と子どもたちが交流できるようなゾーンにしていこうと議論しているところです。</p> <p>また、まちづくりについては、近鉄郡山駅周辺のまちづくり基本計画を策定しました。歩車分離の検討や空き地を利用した社会実験を進め、城下町の風情を生かしたいいきと暮らせるまちづくりを基本的なイメージとして、今後のまちづくりに取り組んでいきたいと思っています。</p>	

資料説明	森三郷町長
<p>三郷町では、令和元年7月1日にSDGs未来都市に選定され、SDGs推進に向けて統合的な取組を行っています。</p> <p>具体的には、①地域BWA制度を活用したネットワークの構築、②スマートシティSANGOを支えるメンターの発掘・育成、③国、奈良県、他自治体、企業等との連携・協力といった3つの取組により、誰一人取り残さない社会の実現に取り組み、2030年のあるべき姿として、世界に誇る人にもまちにもレジリエンスなスマートシティSANGOの実現を目指します。</p> <p>また、これらSDGsの推進を通して、あらゆる世代の誰もが居場所と役割をもって繋がり、生涯を通じて健康でアクティブに活躍できるまち「全世代、全員活躍のまち」を構築します。</p>	

資料説明	森田原本町長
<p>田原本町では、人口を維持していくために、第4次総合計画を策定し、施策を編んでいます。</p> <p>出生数増、死亡者数減の取組として、ICTの活用や中学校給食の開始など教育環境の充実、他府県の好事例を取り入れたいきいき100歳体操や健康ポイント事業等に取り組んでいます。</p> <p>また、転入増、転出減に大きく寄与する防災について、奈良県の平成緊急内水対策事業にも県内の市町村事業第1号として、貯留できる場所の整備を行っています。</p> <p>こうした取組の結果、平成30年度の社会動態の減少数は改善しており、引き続き、ブラッシュアップをしながら取り組みたいと思っています。</p>	

資料説明	今中上牧町長
<p>上牧町では、上牧笹ゆり回廊として中心部を流れる滝川を中心に、点在する歴史遺産や自然遺産を含む地域資源を巡る周遊ルートの整備の取組を発展ビジョンの一つとして進めたいと考えています。</p> <p>回廊の整備計画では、上牧久渡古墳群を令和3年度の史跡公園化に向けて、遊歩道や展望広場を設け、回廊内の眺望スポットとしての整備を、また、片岡城跡の植栽、滝川の親水性護岸整備による憩いの空間づくり、その他自転車道の整備なども計画しています。</p> <p>今後も、地域住民や町を訪れる人々が自然を満喫しながら健康増進につなげることを目指し取り組んでいきたいと思っています。</p>	

資料説明	平井王寺町長
<p>王寺町では、王寺駅を中心とした周辺のまちづくりについて、県と連携協定を結び、西和地域の拠点としての機能強化を進めています。</p> <p>18年後のリニア中央新幹線全線開通を視野に、西和医療センターの移転、王寺駅周辺への商業施設の誘致、ホテルの誘致(令和2年5月オープン予定)など、民間資本も活用し、都市機能を充実させていきたいと思ひます。</p> <p>また、町の南側に位置する畠田駅については、北葛城郡のひとつの地域拠点として活用できるように、新規バス路線整備を見据えたバスロータリーの新設や歩道の設置等、駅前広場の整備を進めていきます。</p>	

資料説明	清原河合町長
<p>河合町では、交通便利性のよさや馬見丘陵公園に近いなど住みやすさのポテンシャルの高さを活かし、魅力あるまちづくりに取り組み、人口増につなげたいと考えています。</p> <p>特に教育を軸とした特色ある取組を進めたいと思っており、隣接する小中学校を生かした学校図書の利用などの小中連携や小学校から中学校への系統的なICT教育の推進などを考えています。</p> <p>また、子育て環境の整備に向けては、令和2年4月に馬見丘陵公園に隣接する幼保連携型の認定こども園が開園し、馬見丘陵公園が大きな園庭になる、恵まれた自然環境の中での保育・教育が始まります。</p> <p>こうした河合町の魅力を今後もしっかりと情報発信していきたいと思ひます。</p>	